

かけはし

No.

89



撮影：佐々木 智也

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| ●病院長 新年のご挨拶 2 | ●薬剤科 実務実習を終えて 6 |
| ●気管支喘息の最近の話題 3 | ●ハロウィン訪問 6 |
| ●オープンカンファレンス開催報告 4 | ●山での楽しみ 7 |
| ●新入職員紹介 4 | ●地域医療連携室だより 7 |
| ●感染管理認定看護師な日々 4 | ●編集後記 7 |
| ●飛翔会だより～院内旅行～ 5 | ●診療日程表 8 |
| ●福山医学祭発表報告 6 | |

日本医療機能評価機構認定病院
特定医療法人 財団竹政会



セントラル病院

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26
TEL.084-924-4141(代) FAX.084-924-8040
●ホームページアドレス <http://www.central-hp.or.jp/>

病院理念

私たちは、安全で良質な医療が提供できるよう最善を尽くし、地域の人々に信頼され愛される病院を目指します。



公式ホームページ



Instagram

公式Instagram



2026年 新年のご挨拶

病院長 高橋 健治

新春のお慶びを申し上げます。

2026年(令和8年)を迎え、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。昨年は参議院選挙が行われ、再び与党が過半数を割る結果となりました。公明党が自民党との連立を離脱し、その代わりに維新の会が与党に加わりました。また、女性初の総理大臣として高市氏が誕生いたしました。与党単独では政策決定が難しい状況の中、ガソリンの暫定税率の廃止など、民意が反映されやすい政治状況となっております。

物価高対策には、我々が政府に預けた多額の税金が活用されております。ぜひ有効に使われることを願っております。

我が国の周辺情勢について申し上げますと、日本の隣国・台湾に対して中国共産党が軍事的圧力を強めている現況は依然として続いています。

また、昨年11月にブラジルでCOP30が開催されましたが、二酸化炭素排出量はさらに増加し、2024年にはパリ協定で掲げた「気温上昇を産業革命前より1.5℃以内に抑える」という目標を超えてしまいました。

一方、核融合に関する研究開発が進展しており、実験段階から実用化に向けた具体的なステップへと進んでいます。核融合の原料は海水中に含まれる重水素であり、排出される放射性核物質もごくわずかです。何よりも、二酸化炭素を排出しない点が大きな特徴です。もし実用化されれば、地球温暖化を抑制できるエネルギー源となることが期待されます。

また、従来のシリコン製太陽電池に比べて約1mmと非常に薄い、日本発の『ペロブスカイト太陽電池』も実用化の段階に入りました。今後、この技術が世界中に広まることを願っています。

さらに、日本人メジャーリーガーの大谷翔平選手のブームは、今年も日本だけでなく世界中でさらに盛り上がるでしょう。ワールドシリーズ第7戦は球史に残る素晴らしい試合で、野球の魅力を改めて感じさせてくれました。もう一人の山本投手は、普段の試合とは一線を画す、一球一球の重みが全く違った投球を見せてくれました。山本投手には申し訳ないのですが、今年の大谷選手には、打つ方を犠牲にしてでも投手として『サイヤング賞』を獲得してほしいと願っています。

さて、セントラル病院では医師の異動も若干ありますが、今年も変わらず皆さまが安心して健康的な生活を送れるよう、サポートしてまいります。2026年も何が起こるかわからない状況ですが、皆さまにとって素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。





病気のはなし

気管支喘息の最近の話題

呼吸器内科医師 渡辺 康典

1. 診断についての話題

気管支喘息の病態の主体は好酸球による気道炎症ですが、これまでそれを簡易に臨床現場で測定することは困難でした。最近、好酸球性気道炎症により気道の上皮から一酸化窒素(NO)が過剰に産生されることを利用し、呼気中一酸化窒素(FeNO)を簡便に測定できるようになりました。この機器の登場により、当院でも咳症状で来院される方の喘息診断や治療効果の確認、さらには慢性閉塞性肺疾患など他の呼吸器疾患との鑑別に役立っています。

これまで喘息を診断するための客観的な指標がなかったことを考えると、FeNOの測定が可能になったことは、我々医療側と喘息患者さんの双方にとって画期的なことです。咳がなかなか止まらなくて困っていらっしゃる皆さん、それは喘息が原因かもしれません。ぜひ一度、FeNOを測定しに来てみてください。



2. 治療についての話題

喘息治療の中心は、好酸球性気道炎症を抑制するための吸入ステロイド(ICS)です。ICSだけで症状が残存する方には、ICS+長時間作用型 β 刺激薬(LABA)の合剤を吸入します。これらの吸入薬により、多くの喘息患者さんの症状は改善しますが、それでも症状が残る場合には、最近ではICS+LABA+長時間作用型抗コリン薬(LAMA)の3剤合剤の吸入薬も登場しています。これにより、2種類、3種類の吸入薬を別々に使用するのではなく、同時に吸入できるようになり、患者さんの利便性が大きく改善しました。

重要なことは、症状がなくなっても吸入を自己判断で中止しないことです。症状がない＝治癒ではありません。症状がなくても、好酸球性気道炎症がゼロになったわけではありません。吸入でその炎症を抑え続けることが、喘息の長期管理には重要です。

さらに、高用量のステロイド吸入を行っているにもかかわらず十分に症状がコントロールできず、しばしば発作を起こす患者さんがいらっしゃいます。これを難治性気管支喘息と言います。これまで症状をコントロールするために、経口ステロイドを使用せざるを得ませんでした。しかし、経口ステロイドの長期使用には血糖値の上昇、骨折リスクの上昇、胃潰瘍などたくさんの副作用が伴います。

最近、難治性喘息に対して生物学製剤という画期的な注射薬が登場しました。現在、日本では5種類の生物学製剤が使用可能です。これらは、前述のFeNO、末梢血好酸球数、非特異的IgEなどの値を参考に使い分けます。当院で生物学的製剤を使用されている患者さんは症状が大幅に改善され、全員が経口ステロイドの必要がなくなっています。ただし、薬価が他の喘息治療薬に比べて非常に高価なのがネックです。

「咳が止まらない」「喘息の症状が改善しない」などでお困りの方は、ぜひ当院にご相談ください。



開催
報告

「オープンカンファレンス」

2025年11月6日、当院にて他医療機関の職員を対象とした「オープンカンファレンス」を開催し、女性泌尿器科および透析医療について講義を行いました。

講義では、女性に多い過活動膀胱や骨盤臓器脱など、これまで「相談しにくい」「どこに受診すれば良いかわからない」とされてきた疾患について、診療の流れや治療の選択肢を紹介しました。

また、透析部門ではシャントエコーやフットケアを含めた日常的なサポート体制について説明し、地域で安心して通院を継続できる仕組みづくりを報告させて頂きました。女性泌尿器科と透析医療は対象となる患者背景が異なりますが、「困りごとを抱えた人に気づき、つなぎ、支える医療」という点では共通しています。

今回のカンファレンスは、地域でより身近に相談できる医療の姿を考えるよい機会となりました。



新入職員紹介

看護師

江種 真未

以前助産師として病棟に勤務し、ブランクを経てこちらに入職させていただくことになりました。趣味は読書・運動・愛犬との散歩です。

1日でも早く皆様の一員として患者様に寄り添った看護を行えるよう精進します。

薬剤師

福田 靖葉

12月から入職しました。自己研鑽していきます。よろしくお願いします。

看護補助者

与那覇 克美

10月より看護助手として勤務させて頂いております。1日も早く業務に慣れるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

感染管理認定看護師な日々

感染管理特定認定看護師 恵谷 和郎

明けましておめでとうございます。

昨年は、大変名誉な「国勢調査員」の任に就かせていただきました。国の重要な統計調査である国勢調査ですが、想像以上に大変な経験となりました。

町内を直接訪問し、調査票の記入をお願いしましたが、詐欺の報道も繰り返されていることもあり、自分が不審者のように感じる場面もありました。幸い、8割の方には快くご協力いただきましたが、残る2割は手強い方々でした。「国勢調査など聞いたことがない。今まで行ったことがない」と頑なベテラン夫婦の世帯もありました。日本に来て日が浅いのだろうか、あるいは答えられない理由があるのだろうか、いろいろ考えました。また、SNSや動画配信サービスから、「回答すると不利益がある」「誰も答えていないからやらない」「法律は無視しても大丈夫」などの情報を信じて、協力を拒む世帯もありました。こうしたよくわからない情報が拡散し、侵食していく様子は、まるでよくわからない伝染病のように感じられました。そしてこの2割の方々に対して、特に苦労しました。

ふと、日頃の感染対策の現場も同じであると感じました。感染対策は、皆で取り組む必要があります。一部の理不尽な非協力者への対応により、調査員も対策側も疲弊する構図はよく似ています。準備や実施、集計は大変です。皆様のほんの少しのご協力があれば、感染対策も統計調査もより良い成果を示すことができます。

国勢調査は5年ごとに行われます。今回調査に回答されなかった方は、ぜひ次回は調査員に立候補して、体験してみてください。何はともあれ、本当に大変でした。国勢調査の結果が、より良い日本の未来に役立つことを願っております。

飛翔会だより 【院内旅行】

伊勢コース

栄養管理科 上本 知佳

1泊2日で伊勢に旅行に行ってきました。1日目は新幹線を名古屋で降り、名古屋城を見学した後、名古屋コーチンでお腹を満たし、バスでメインの伊勢へ出発しました。参拝のならわしに従い、まず伊勢神宮外宮から参拝しました。足早に参拝を済ませた後、楽しみにしていた鳥羽水族館へ向かいました。国内で唯一飼育されているラッコを見ようと急いで向かいましたが、連休中のため非常に混雑しており、ラッコ待ちの列に並ぶだけで閉館時間になりそうだったため、泣く泣くラッコを諦め、ジュゴンやアフリカマナティーなどの珍しい生き物を眺めて癒されました。

旅館では豪華な食事と温泉でゆったりと過ごし、2日目はいよいよ伊勢神宮内宮へ。ガイドさんの丁寧な説明を聞きながら、歴史を感じる穏やかな時間を過ごしました。参拝後はおかげ横丁で赤福を味わったり、ガイドさんおすすめの地酒を探したりと、お土産もたくさん購入しました。盛りだくさんの内容で少々慌ただしい旅行でしたが、美味しいものをたくさん食べて楽しい時間を過ごすことができました。



神戸コース 【アトア神戸・神戸牛・クルーズツアー】

看護師 佐藤 萌香

2025年11月の連休に、院内旅行で神戸へ行ってきました。まずはステーキランドで神戸牛のステーキをいただきました。本格的な鉄板で、目の前でお肉を焼いてもらい、味だけでなく視覚でも楽しむことができました。

次に訪れたのは「アトア神戸」。アクアリウムに舞台美術やデジタルアートが融合した劇場型のアクアリウムで、写真映える展示が多く、あっという間に時間が過ぎてしまう素敵な体験ができました。

最後に神戸港でクルージングを楽しみました。天気にも恵まれ、神戸の美しい景色を一望することができました。

振り返ると、慌ただしい一日でしたが、神戸をしっかりと満喫できて、とても楽しい一日となりました。神戸に行った際にはまた訪れたいと思える場所だったので、皆さまもぜひ神戸にお越しの際には訪れてみてください。



当院骨粗鬆症骨粗外来に おける 理学療法士の取り組み

リハビリテーション科
金尾 亮兵



身体拘束最小化チーム 発足後の病棟看護師の 認識の変化

病棟
山上 朝絢



職員への健康指導介入と その効果

健康管理課
山縣 薫



薬剤科

実務実習を終えて

福山大学薬学部 石井 聖也

11週間の実習では、大変お世話になりました。実習期間中は、調剤や服薬指導、鑑別、カンファレンスなどさまざまな業務を体験させていただきました。また、オペ見学や多くの職種の方々からお話を伺うこともでき、大変貴重な経験となりました。日々の業務を通じて、より良い医療を提供するためには多職種の連携が不可欠であると、改めて実感いたしました。

今回の実習で学んだことを今後の活動にしっかりと生かしていきたいと思います。お忙しい中、ご指導いただき誠にありがとうございました。



TRICK OR TREAT ～ハロウィン訪問～

わくわく託児所 保育士 高安 絵美

病院附属託児所のハロウィン行事の一環として、病院を訪問させていただきました。手遊びや歌を通じて患者さんと交流し、子どもたちはドキドキしながら楽しそうにしていました。わくわくするような素敵な一日となりました！みんなの笑顔で、元気100倍です！！



山での楽しみ

リハビリテーション科 佐々木 智也



登山をしていると、苦しいことや怖い思いをすることもたくさんあります。しかし、それ以上に楽しいことや感動することが登山中にはあります。私が感じた山での楽しみをいくつか紹介したいと思います。

街中ではさまざまな音が常に鳴り響いていますが、山中を歩いていると人工物の音はなく、普段の生活では気に留めることのない鳥や虫、花や木々の息づかいを感じることができます。自然を感じながら登り続け、頂上に着いたときの達成感も格別ですが、その後の食事が一番の楽しみかもしれません。インスタントラーメンやおに

ぎりなどの簡単な食事をとった後に、絶景の中で飲むコーヒーは、普段より何倍も美味しく感じられます。

日程に余裕があれば、山小屋やテントで宿泊することもあります。そこで見た満天の星空や雲海の中でのご来光は、写真や動画では伝えきれない感動があります。

皆さんも機会があれば、お近くの山に登ってみてはいかがでしょうか。普段の生活では感じられない新たな発見がきっとあると思いますよ。



地域医療連携室だより

地域連携室 藤本 智恵



「花や緑があると心が落ち着く」とよく言われますが、私もその意見に共感する一人です。なので、素敵な♪出会いを運命と感じて購入した植物もありますが、思いが届かずに枯れてしまう…ことも幾度となく経験し、少し得意分野になってきました(泣)

そんな私が今回購入を検討している植物をご紹介します。それは「ビカクシダ」というシダ植物です。

10年前、モデルルームのような素敵な友人の家にお邪魔した際、壁に掛かっているその植物に一目惚れしました。「かつこすぎる!! 欲しい!!」と思ったのですが、我が家は物が散らかっているため、お迎えはできないな…と諦めていました。

しかし、今年久しぶりにその家を訪れた際、再び心を奪われ、そろそろ購入できるかもしれないと感じ、福山の園芸店に通いながら物色中です。そんな話をしていたところ、素敵なお店を紹介してもらい、行ってきました。さまざまな種類のシダ植物がありすぎて迷いに迷い、結局購入には至りませんでした。今後はもっと調べて、理想のビカクシダを迎えたいと思います。枯れることなく立派なビカクシダを飾り、優雅な毎日を過ごす自分を想像しながら、夢を膨らませている今日この頃です。本年もどうぞよろしくお願いします。

編集後記



新年あけましておめでとうございます。年末年始に旅行された方もいらっしゃると思います。

私は秋頃、テレビで特集されていた紅葉を実際に見てみたくなり、せっかくなら行ったことのない景勝地へ行こうと考えていました。しかし、連日のように熊の事件が報道されているのを見て、残念ながら今回は見送ることにしました。

各地で熊の被害が出ている状況ですが、この号が発行される頃には冬眠に入り、落ち着いてくれることを願っております。

広報委員 帯刀 康男

セントラル病院の基本姿勢

C:Center	地域医療の中核
E:Emergency	的確な救急医療
N:Network	院内外の連携体制
T:Technique	高度な医療技術
R:Research	旺盛な研究心
A:Activity	あふれる活気
L:Love	深い愛情
H:Hospitality	快適な医療環境
P:Partnership	良好なパートナーシップ

発行 特定医療法人 財団竹政会
セントラル病院
発行責任者 院長 高橋 健治

〈セントラル病院診療日程表〉

2026年1月現在

		月	火	水	木	金	土
整形外科	午 前	竹政	後藤	竹政	後藤	後藤	後藤
	午 後	一般 後藤	後藤(14時～15時)	竹政 (16時～) 新患・スポーツ外来 のみ	後藤(14時～15時)	後藤	—
		竹政 (16時～) スポーツ外来のみ	手術		手術		
		川大整形(15時～)	川大整形(15時～)				
外科	午 前	竹原	高橋	湯浅	竹原	高橋	担当医
	午 後	—	—	—	乳腺甲状腺 岩本	—	—
内科	午 前	太田(9時30分～)	徳毛	太田(9時30分～)	—	太田(9時30分～)	渡辺
		川合	岡本	川合	岡本	川合	川合(第2・4週)
		—	渡辺	渡辺	北村	渡辺	濱田(第1・3・5週)
	午 後	北村	川合	北村	徳毛	岡本	—
		—	—	徳毛	渡辺	—	—
泌尿器科 女性科	午 後	—	有地 (第2・4週の 14時～16時30分)	—	—	有地 (15時～17時)	—
骨粗鬆症 外来	午 後	竹原(第1週) 横尾(第4週)	—	—	—	—	—
透視	午 前	有地	有地	有地	有地	有地	有地
	午 後	有地	—	有地(第1・3・5週) 担当医(第2・4週)	—	有地	—
ドック	午 前	浜井	浜井	浜井	太田	浜井	担当医
検査	胃カメラ	岡本／北村	川合／笹平	北村／高橋	井上／ 高橋	北村／岡本	担当医
	大腸カメラ	川合	北村	川合	岡本	北村	—

整形外科

竹政 敏彦
(スポーツ外来:月・水16時～)
後藤 峰範
(川崎医科大学整形外科)
古市 州郎
菊岡 亮介

泌尿器科

有地 直子

外科

高橋 健治
(消化器外科・下肢静脈瘤)
湯浅 吉夫(総合診療外科)
竹原 寛樹
(消化器外科・甲状腺科)
岩本 高行(乳腺内分泌外科)

麻酔科

横尾 千加子

内科

渡辺 康典(呼吸器内科)
岡本 康(消化器内科)
川合 幸延(消化器内科)
北村 悟(消化器内科)
浜井 千香(内科)
太田 浩子(内科)
徳毛 健治(内科)
井上 和彦(消化器内科)
濱田 礼子(内科)

健康管理科より

当院では『地域の方々を健康に』を目標に、各種人間ドック・健診をおこなっています。

お気軽にお問合せ下さい。 人間ドック専用TEL:084-924-8041

医師 浜井 千香 / 太田 浩子

注意事項

※火曜日・木曜日の午後の整形外科診療は手術終了後に担当医が行っております。
※緊急時、ご紹介の場合は電話でお問い合わせください。

受付時間 午 前: 8:30～12:00 診察時間 午 前: 9:00～12:30
午 後: 13:30～17:00 午 後: 14:00～17:30
※土曜日は12:00までの受付です。

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26
代表TEL: 084-924-4141 地域医療連携室TEL:084-920-1472
代表FAX: 084-924-8040 FAX:084-920-9278